

単元名 **どんな計算になるのかな**

配当時間 **1時間**

単元の目標 (1) 四則演算の用いられる問題を理解し、問題に即して適切に演算を決定し、計算することができる。  
(2) 演算を決定した根拠を説明することができる。  
(3) 問題を読み、どのような計算になるのかを判断しようとする。

### 標準的な展開例

04040211\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 明石海峡大橋に関する問題から、適切に演算を決定し、立式の根拠を説明する。[p. 56・p. 57]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ どんな計算になるかを考えて、問題をとこう。</li> <li>○ 桁下の高さを求める式を書き、答えを求める。</li> <li>○ <math>300 \div 5</math> の式になる理由を考える。</li> <li>○ 明石海峡大橋に使われているワイヤーの数の求め方を考える。</li> <li>○ 「練習問題」に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題の内容に則して、立式の根拠を説明させる。</li> <li>・ 明石海峡大橋に関する数量や事柄を確認する</li> <li>・ 主塔の高さは、桁下の高さのおよそ5倍になることから、演算決定させる。</li> <li>・ 関係図から、乗法の逆は除法であることを活用させる。</li> <li>・ 1束127本のケーブルが290束あることを確認し、演算決定させる。</li> <li>・ 明石海峡大橋の長さを求めることを確認し、演算決定させる。</li> <li>【評】 計算方法を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</li> </ul>

### 【 備 考 】

本単元では、問題に即して適切に演算を決定し、立式の根拠を説明できるようにすることがねらいである。問題文中の言葉に着目したり、関係図に表したりして、演算を決定する根拠を説明させるように留意する。